

基本方針 1

子どもの発達段階に応じた読書活動を推進します

【様式 2】

	取組の総称	取組	進行 評価	内容 評価	令和 7 年度 成果と課題、今後の方針	今期計画（第四次）における成果と課題	次期計画（第五次）における取組【予定】	担当所属	再掲
（1）すべての子ども	①すべての子どもが読書に親しめる環境の整備、充実	子どもの発達段階に伴うニーズに応じた蔵書の充実	A	A	子どもの発達段階に伴うニーズに応じた図書（図鑑・漫画・物語・小説）などの充実に努めている。	蔵書の充実に努めてきたが、学校図書館図書標準を達成できている学校は少なく、さらなる充実が求められる。	蔵書冊数の増加を図るとともに、蔵書の構成にも目を向けた収集を行い、ニーズに応じたバランスの良い蔵書構成の実現を目指す。	学校教育課	
		誰もが利用しやすい図書の充実	A	A	外国語絵本・点字絵本・大活字本・LLブックの収集や電子図書館の充実を図った。	外国語絵本・点字絵本・大活字本・LLブックの収集や電子図書館の充実を図った。	誰もが利用しやすい図書の充実を更に図っていく。	図書館	
		すべての子どもが利用できるサービスについての周知、広報	A	A	広報おおつ、公式LINE、X、とも育などのSNSの活用や、学校を通じた子どもへのアプローチなど、積極的な広報を実施した。	広報おおつ、公式LINE、X、とも育などのSNSの活用や、学校を通じた子どもへのアプローチなど、積極的な広報を実施した。	子どもと保護者双方へのアプローチが必要であり、さまざまな媒体を活用し、積極的な広報を展開していく。また、必要とされている方に本が届くように関係施設等との連携をすすめる。	図書館	
	②多様な読書を支える職員、教員、保育士等のスキルアップ	子どもたちの発達や多様性に関する研修会への参加促進	A	A	夏季休業中をはじめ、特別支援教育や発達に係る研修を開催するとともに各校において専門家 راき、研修を行うなど子ども理解に努めている。今後、さらに充実するよう研修内容や参加方法など改善していく。	子どもたちの発達や多様性に関する研修会は各校等で行われているが、参加促進はあまりできなかった。	教職員の研修に関しては教育センターが担当しているので、教育センターが中心となって研修内容等を考え、学校教育課も連携できるとよい。	学校教育課	
（2）乳幼児期	①絵本やおはなしに触れる機会の提供	幼稚園・保育園での絵本の貸し出しの実施	A	A	・定期的に絵本の貸し出しを実施することで定着している。今後も継続し絵本に出会う機会の充実に努める。	・絵本の貸し出しの機会が子どもにとって本に触れる大切な機会となっている。今後も読書環境の整備、充実に努める。	幼稚園・こども園・保育園での絵本の貸し出しの実施	幼保支援課	
		幼稚園での「学校図書充実事業」による蔵書の充実	A	A	・子どもの興味関心に応じて新刊や外国の絵本などを購入でき、子どもが新たな文化や世界に触れる機会につながった。今後も蔵書の充実に努める。	・子どもが絵本に触れる豊かな体験につながった。今後も引き続き読書環境の整備、充実に努める。	幼稚園・こども園での「学校図書充実事業」による蔵書の充実	幼保支援課	
		幼稚園・保育園での絵本コーナーなどの設置	A	A	・季節や子どもたちの興味・関心に合わせて蔵書を分かりやすく分類・整理し、目に付きやすいところに並べる等の工夫をすることで、子どもが自分で絵本を選びやすくなった。今後も、子どもが絵本に主体的にかかわっていける魅力ある環境の工夫をしていく。	・子どもが絵本に主体的にかかわっていけるよう、発達や興味・関心に応じた絵本コーナーの設置に取り組めた。今後も絵本を身近に感じ生活の中で出会えるよう整備、充実に努める。	幼稚園・保育園・こども園での絵本コーナーなどの設置	幼保支援課	
		児童館での絵本の貸し出しの実施	A	A	各児童館において、図書室の環境整備や新書の購入を行い、来館者への絵本の貸し出しにつながった。来館者数は年々増加しコロナ前水準にほぼ達しているが、児童館で絵本を手にとってもらえる機会を増やしていくために、来館者のニーズを汲み取り反映していきたい。	各館の図書購入予算を措置しニーズに沿った図書を設置するなど、少しでも多くの来館者の目に留まり興味を持ってもらえるよう各児童館で工夫し、読書の機会の増加とともに、児童館の機能の充実を図ることができた。	引き続き、積極的に絵本の貸し出しやその工夫を行い、読書の啓発に努めるとともに、児童館の利用価値を高め、児童館利用促進にもつなげていきたい。	こども・若者政策課	
	②おはなし会や読み聞かせ会等の実施	幼稚園・保育園での読み聞かせ	A	A	・様々なお話に親しみ、言葉の獲得や文字への興味関心、物語から想像力を膨らませる等の姿につながった。今後も継続していく。	・日常的に読み聞かせを取り入れており、子どもたちにとって本への興味や関心をもち読書習慣形成の素地の育成につながっている。今後もその重要性を踏まえた取組を継続する。	幼稚園・こども園・保育園での読み聞かせ	幼保支援課	
		子育て総合支援センターでのおはなし会、おはなし劇場の開催	A	A	毎日、おはなしの時間を設け進めてきた。また、土日祝日には、おはなし会・おはなし劇場も実施していく。	コロナ禍であっても、おはなしにふれる機会を取り入れ進めてきた。来館者が低年齢になる中、年齢に合わせた内容を工夫しながら進めてきた。	子育てひろばゆめっこでのおはなし会、おはなし劇場の開催と内容の充実	子育てひろばゆめっこ	
		児童館などでのおはなし会の開催	A	A	乳幼児を対象とした親子ふれあい活動では、活動の中で絵本の読み聞かせを行った。乳幼児にとって身近な絵本は、子どもの心身の成長の基本となることから、引き続き、活動中での絵本の読み聞かせを実施する。	早期から図書に触れることで子どもの心身の成長の基本になることを理解し、乳幼児を対象とした親子ふれあい活動を活用、絵本の読み聞かせの機会を確保し続けた。	子どもの成長と児童館来館の促進のためにも、引き続き活動中での絵本の読み聞かせを開催していく。	こども・若者政策課	
			A	A	公民館において、乳幼児とその保護者を対象におはなし会を実施。次年度以降も継続して実施していく予定。	公民館において、乳幼児とその保護者を対象におはなし会を実施することができた。次期計画でも継続して取り組んでいきたい。	公民館でのおはなし会の開催	生涯学習課	
		図書館内外での発達段階に応じたおはなし会や読書イベントなどの開催	A	A	幼い頃から本を身近に感じることができるよう、定期的に年齢に応じたおはなし会を開催するほか、来館のきっかけとなる事業を開催し、親子で本に親しむ機会を提供した。	幼い頃から本を身近に感じることができるよう、定期的に年齢に応じたおはなし会を開催するほか、来館のきっかけとなる事業を開催し、親子で本に親しむ機会を提供した。	幼い頃から本を身近に感じることができるよう、年齢に応じたおはなし会や読書イベントを実施し、親子でいろいろな本に出合い親しめる機会を増やす。	図書館	
		子育てステーション事業、未就園児親子通園事業における読み聞かせ	A	A	・絵本のよさに触れ、家庭での親子の触れ合い、読み聞かせにつながる機会の提供ができた。今後も、継続していく。	・絵本のよさに触れ、家庭での親子の触れ合い、読み聞かせにつながる機会を発信することができた。今後も継続していく。	子育てステーション事業、未就園児親子通園事業における読み聞かせ	幼保支援課	
	③保護者への読書の大切さの啓発	「赤ちゃん手帳」への読書の大切さの掲載	A	A	赤ちゃん手帳に掲載しているものの、アンケート調査によりスマホの普及等で赤ちゃん手帳自体を読んでいる保護者が減っている。	これまでの郵送から新生児訪問時に直接手渡しするように変更するなど工夫している。	赤ちゃん手帳の在り方を見直しをするが、今後も読書の大切さについては啓発できるような媒体を検討していく。	母子保健課	
		乳幼児健診室へ図書紹介のチラシの設置	A	A	乳幼児健診室内で、どの保護者の目にもとまりやすい場所に設置した。	今後も引き続き設置を継続していく。	必要な保護者には保健指導の中でも声掛けをしていく。	母子保健課	
			A	A	乳幼児健診時に図書館の利用案内や、幼児向けブックリストを配布した。	乳幼児健診時に図書館の利用案内や、幼児向けブックリストを配布した。	乳幼児健診時に図書館の利用案内や、幼児向けブックリストを配布し、保護者へ子どもの読書への理解を深めてもらう機会の提供に取り組む。	図書館	
		10か月児健診での絵本ガイドの配布	A	A	1 0 か月児健康診査については初めての集団健診ということもあり、受診率が高い。	毎年9 0 %以上の受診率であり、多くの親子に絵本ガイドを配布することができている。	次期計画（第五次）においても、継続した取り組みを行う。	母子保健課	
		乳児家庭全戸訪問事業で絵本を紹介している子育てハンドブックの配布	A	A	生後1～2か月頃に新生児訪問時、または、来所相談を希望される場合はすこやか相談所にて、子育てハンドブックを配布している。	母子保健課の新生児訪問事業においては、令和 7 年度出生数に対し、90 %以上（令和8年4月現在）の新生児に配布ができた。	次期計画（第五次）においても、継続した取り組みを行う。	母子保健課	
			A	A	乳児家庭全戸訪問事業で絵本を紹介している子育てハンドブックの配布	今後も、同様にすすめていく。	事業の見直しにより、項目削除予定	子育てひろばゆめっこ	
		来館者の意見を取り入れた、おすすめ絵本や読み聞かせのポイント紹介	A	A	年齢に応じた、絵本の選び方や紹介をおこなった。読み方のポイントも保育士の読み聞かせの中で伝えている。来館者のリクエストボックスを10月から再開した。	来館者が利用しやすいような、絵本の設置や紹介をおこなった。日々のおはなし会や講座の中でも絵本の読み方やおすすめ絵本を知らせた。今後も来館者の状況に応じた、語り方や絵本の紹介を工夫していきたい。	来館者の状況に応じた、"語りかけの大切さや年齢に応じたおすすめ絵本や読み聞かせのポイントの紹介を行ってきたい。	子育てひろばゆめっこ	

	取組の総称	取組	進行 評価	内容 評価	令和7年度 成果と課題、今後の方針	今期計画（第四次）における成果と課題	次期計画（第五次）における取組【予定】	担当所属	再掲
(2) 乳幼児期	④読書習慣の形成	幼稚園・保育園での保護者への啓発	A	A	・絵本貸し出しが家庭での読み聞かせのきっかけにつながり、親子の触れ合いを通して絵本のよさが感じられる機会となった。今後も、絵本にかかわる通信や親子での貸し出しなど、アプローチの工夫をしていく。	今後も読み聞かせや絵本などとの出会いの重要性について家庭、保護者へ啓発する。	幼稚園・こども園・保育園での保護者への啓発	幼保支援課	
		絵本についての講座や学習会の開催	A	A	・読み聞かせや絵本等との出会いの重要性について通信や掲示等から実践できた。今後も保護者への啓発に努める。	・読み聞かせを保育の意図に結び付ける力の育成に向けて、引き続き学び合いの研修を実施していく。	絵本についての講座や学習会の開催	幼保支援課	
		ブックスタート事業の検討	B	B	総合保健センターの乳幼児健診会場で読書ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施。また、試験的に瀬田市民センターの乳幼児健診会場で読み聞かせを実施。参加者は増加傾向にあるが、絵本の読み聞かせに関心が薄い層へのアプローチが十分ではない点が課題である。今後は、そうした層にも届くような働きかけ方や活動内容の工夫をする必要がある。	乳幼児健診会場で絵本読み聞かせは、令和5年度から総合保健センターで、令和7年度からは試験的に瀬田市民センターでも開始した。総合保健センターでは、定期的な開催により参加者は年々増加している。今後は、絵本読み聞かせに関心が薄い層にも届くよう、働きかけ方や活動内容を工夫する必要がある。	ブックスタート事業の検討に限らず、絵本の読み聞かせや読書に関心が薄い保護者への働きかけ方を検討していく必要がある。	生涯学習課	
			A	A	検討した結果、総合保健センターの乳幼児健診会場で読書ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施するに至った。	大津市の全乳幼児を対象とした事業において検討・実施することができた。とりわけ乳児期に焦点を当てて実施することができたことは、保育園等に早期から入所する児が増える状況で大きな成果かと思われる。	次期計画（第五次）においても、継続した取り組みを行う。	母子保健課	
(3) 小学生期	①多様な本に触れる機会の提供	学校だよりなどで子どもたちの読書に関する情報提供	B	B	学校司書配置校では、図書だよりを発行し、おすすめの図書や季節に合わせた本の紹介などを行っている学校もある。好事例を紹介していきたい。	学校司書配置校やブックサポーターの活動がさかんな学校は、図書だよりを発行していることがあったが、それら以外の学校では、あまり読書に関する情報提供はできなかった。	司書配置校以外では読書に関する情報を入力することが難しく、時間もないため、学校司書が拡充できるよう努めていくとともに、できる範囲での情報提供を各学校に依頼していく。	学校教育課	
		図書館との協力体制の強化	A	A	公立図書館司書が図書館教育連絡協議会で説明を行ったり、学校司書研修会で助言を行い資質向上を図ったりするなど連携を行った。	図書館の事業案内をすることで学校との連携が進んでいる。また図書館司書と学校司書の連携の機会を設けていることは資質向上に効果的であった。	図書館とのさらなる連携を進めていく。	学校教育課	
		地域やPTAの読書ボランティアなどとの連携	A	A	令和7年度も図書室の環境整備、貸出支援等を担っていただく地域ボランティアに対しての予算を確保したことで、多くの学校が地域やPTAの読書ボランティアと連携を行った。	令和6年度からブックサポーター活動への予算を確保したことで地域との連携が大きく推進した。	引き続き予算を確保し、地域やPTAの読書ボランティアなどと連携を図っていく。	学校教育課	
		学級文庫の充実	B	B	図書館の団体貸出で定期配本を行い、学級に配置するなど学級文庫の充実に努めているところである。	図書館の蔵書の充実を第一に考えているため、学級文庫の充実については後回しとなっていることがある。	学校図書館の蔵書を定期的に学級に貸し出したり、図書館の団体貸出の積極的な利用を進めることで充実を図っていく。	学校教育課	
		図書館の出前講座による「おはなし会」や団体貸出の活用	A	A	市内全小・中学校で団体貸出登録を行っており、活用が進んでいる。また昨年度から始まった図書館の出前講座を申し込んだ学校もある。	図書館の利用は進んできているものの、学校間で差が見られる。	図書館の事業について積極的に案内をすることで市内すべての学校の活用につなげていく。	学校教育課	
		タブレット等を用いた読書活動の推進（電子図書の活用）	A	A	電子図書を活用している学校の好事例を図書館教育連絡協議会で紹介いただくことで、電子図書の活用が少しずつ広がってきている。	電子図書の活用は少しずつ広がっているものの、家庭で初期登録を行ってもらうこともあり、活用が進みにくい。	電子図書によって読書活動の選択肢を広げていけるよう、学校での一括登録などの方法を模索していく。	学校教育課	
			A	A	小学校の授業等で活用できるようマルチライセンス型電子図書を導入し、調べ学習や朝読書に活用できるよう利用の促進を図った。	小学校の授業等で活用できるようマルチライセンス型電子図書を導入し、調べ学習や朝読書に活用できるよう利用の促進を図った。	小学校の授業等で活用できるようマルチライセンス型電子図書を導入し、学校の協力を得ながら更なる利用の促進を図る。	図書館	
	②本を活用した学習や学びの機会の促進	読書指導の充実	A	A	各学校において取組を進めているところであるが、地域人材や図書館の活用、教職員の研修などを通して一層の充実を図っていく。	各学校で工夫し、取組を行うことができた。	教職員・学校司書・ブックサポーターが連携して読書指導にあたることができる体制をつくっていく。	学校教育課	
		読書週間の強化	B	B	地域の読書ボランティアや図書館にゲストティーチャーを依頼し、読書への関心を広げたり、学習を深めたりしている	各学校で工夫し、取組を行うことができた。	他校の好事例等を紹介することで、読書週間を強化できるよう努めていく。	学校教育課	
			A	A	「こどもの読書週間」及び「読書週間」において、本の展示やおはなし会など、来館のきっかけになる催しを実施した。	「こどもの読書週間」及び「読書週間」において、本の展示やおはなし会など、来館のきっかけになる催しを実施した。	「こどもの読書週間」及び「読書週間」において、本の展示やおはなし会、読書イベントなど、本に出合うきっかけになる催しを実施する。	図書館	
		各教科等における学校図書館の活用	B	B	ほぼ全ての学校が授業で学校図書館を活用しているが、その頻度については学校間で差が見られる。好事例を紹介するなど活用が進むよう努めていく。	授業での活用について、あまり進んでいない学校へのアプローチが必要である。	授業での活用が進むよう訪問や研修等を通じて呼びかけていく。	学校教育課	
	③学校図書館の利用促進	学校だよりなどで子どもたちの読書に関する情報提供	B	B	学校司書配置校では、図書だよりを発行し、おすすめの図書や季節に合わせた本の紹介などを行っている学校もある。好事例を紹介していきたい。	学校司書配置校やブックサポーターの活動がさかんな学校は、図書だよりを発行していることがあったが、それら以外の学校では、あまり読書に関する情報提供はできなかった。	司書配置校以外では読書に関する情報を入力することが難しく、時間もないため、学校司書が拡充できるよう努めていくとともに、できる範囲での情報提供を各学校に依頼していく。	学校教育課	再掲
		学校図書館蔵書の充実	A	A	児童生徒一人あたりの学校図書館蔵書冊数については、小学校で昨年度より少し減少したが、図書の廃棄が進んでいることも影響している。引き続き、目標達成のために予算確保に努めていきたい。	学校図書館図書標準を達成している学校がまだまだ少ないことが課題である。	予算確保に努め、学校図書館図書標準が達成できる学校を増やしていく。	学校教育課	
		学校図書館への新聞配備	—	—	令和7年度は学校図書館への新聞配備は行わなかった。	新聞配備のための予算確保ができていないことが課題である。	学校図書館への新聞配備のための予算確保をめざす。	学校教育課	
		学校図書館備品の充実	B	B	書架など必要な備品は概ねそろっているが、増設や老朽化に伴う書架等の買い替えなどに対応していくことが課題である。	学校司書配置校を中心に備品の充実に努めてきた。引き続き予算確保に努めていく。	増設や老朽化に伴う書架等の買い替えなどに対応できるよう、さらなる予算確保をめざしていく。	学校教育課	
		学校司書の配置の拡充	A	A	令和7年度は、学校司書を1名増員したことで、昨年度よりも多くの学校に学校司書を配置できた。さらなる拡充に努める。	この5年間で少しずつ学校司書は増員しているが、すべての学校からの希望に応えることができていない。	学校司書を増員し、配置校を拡充していく。	学校教育課	
		図書館との協力体制の強化	A	A	公立図書館司書が図書館教育連絡協議会で説明を行ったり、学校司書研修会で助言を行い資質向上を図ったりするなど連携を行った。	図書館の事業案内をすることで学校との連携が進んでいる。また図書館司書と学校司書の連携の機会を設けていることは資質向上に効果的であった。	図書館とのさらなる連携を進めていく。	学校教育課	再掲

	取組の総称	取組	進行 評価	内容 評価	令和7年度 成果と課題、今後の方針	今期計画（第四次）における成果と課題	次期計画（第五次）における取組【予定】	担当所属	再掲
(3) 小学生期	④読書習慣の形成（継続）	朝読書の推進	B	B	多くの学校で朝読書が定着し、読書習慣が形成されている。さらに取組が充実するよう努めていく。	朝読書を行っていない学校もあることから、朝読書以外にも読書の機会を確保できるような工夫が必要である。	朝読書以外にも読書習慣の形成を図ることができるような取組を行っていく。	学校教育課	
		学校だよりなどで子どもたちの読書に関する情報提供	B	B	学校司書配置校では、図書だよりを発行し、おすすめの図書や季節に合わせた本の紹介などを行っている学校もある。好事例を紹介していきたい。	学校司書配置校やブックサポーターの活動がさかんな学校は、図書だよりを発行していることがあったが、それら以外の学校では、あまり読書に関する情報提供はできなかった。	司書配置校以外では読書に関する情報を入手することが難しく、時間もないため、学校司書が拡充できるよう努めていくとともに、できる範囲での情報提供を各学校に依頼していく。	学校教育課	再掲
		地域やPTAの読書ボランティアなどとの連携	A	A	令和7年度も図書室の環境整備、貸出支援等を担っていただく地域ボランティアに対するの予算を確保したことで、多くの学校が地域やPTAの読書ボランティアと連携を行った。	令和6年度からブックサポーター活動への予算を確保したことで地域との連携が大きく推進した。	引き続き予算を確保し、地域やPTAの読書ボランティアなどと連携を図っていく。	学校教育課	再掲
	④読書習慣の形成（継続）	「子どもの居場所づくり事業」を通じた保護者への啓発	A	A	公民館において、未就園児及び小学生とその保護者を対象に「子どもの居場所づくり事業」の実施。事業の中で、絵本の読み聞かせなどを行い、読書習慣の形成を働きかけることができた。次年度以降も継続して実施していく予定。	公民館の「子どもの居場所づくり事業」では、未就園児及び小学生とその保護者へ絵本の読み聞かせを実施し、読書習慣の形成を促すことができた。次期計画でも、この取り組みを継続して実施していく予定。	「子どもの居場所づくり事業」を通じた保護者への啓発	生涯学習課	
(4) 中学・高校生期	①電子図書などICTを活用した読書活動の推進	利用しやすい図書館のための情報機器等の活用	A	A	学校を通じて電子図書の利用案内を行い、使い方の周知を図った。	学校を通じて電子図書の利用案内を行い、使い方の周知を図った。	学校を通じた電子図書の利用案内や使い方の周知について継続的に取り組む。	図書館	
		SNS等を用いた図書情報の発信	B	B	夏季休業前に図書館からの読書案内を連絡アプリtetoru等を使って保護者に周知するよう各学校に依頼した。	学校教育課がSNSの運用を行っていないため、発信することが難しかった。また、図書情報についても得にくい。	図書情報の発信は図書館から情報を提供いただき、各学校が実情に応じて子どもや保護者に発信できるとよい。	学校教育課	
		タブレット等を用いた読書活動の推進（電子図書の活用）	A	A	電子図書を活用している学校の好事例を図書館教育連絡協議会で紹介いただくことで、電子図書の活用が少しずつ広がってきている。	電子図書の活用は少しずつ広がっているものの、家庭で初期登録を行ってもらうこともあり、活用が進みにくい。	電子図書によって読書活動の選択肢を広げていけるよう、学校での一括登録などの方法を模索していく。	学校教育課	再掲
			A	A	小学校の授業等で活用できるようマルチライセンス型電子図書を導入し、調べ学習や朝読書に活用できるよう利用の促進を図った。	小学校の授業等で活用できるようマルチライセンス型電子図書を導入し、調べ学習や朝読書に活用できるよう利用の促進を図った。	小学校の授業等で活用できるようマルチライセンス型電子図書を導入し、学校の協力を得ながら更なる利用の促進を図る。	図書館	再掲
	②本を活用した学習や学びの機会の促進	読書週間の強化	B	B	地域の読書ボランティアや図書館にゲストティーチャーを依頼し、読書への関心を広げたり、学習を深めたりしている	各学校で工夫し、取組を行うことができた。	他校の好事例等を紹介することで、読書週間を強化できるよう努めていく。	学校教育課	再掲
			A	A	「こどもの読書週間」及び「読書週間」において、本の展示やおはなし会など、来館のきっかけになる催しを実施した。	「こどもの読書週間」及び「読書週間」において、本の展示やおはなし会など、来館のきっかけになる催しを実施した。	「こどもの読書週間」及び「読書週間」において、本の展示やおはなし会、読書イベントなど、本に出合うきっかけになる催しを実施する。	図書館	再掲
		各教科等における学校図書館の活用	B	B	ほぼ全ての学校が授業で学校図書館を活用しているが、その頻度については学校間で差が見られる。好事例を紹介するなど活用が進むよう努めていく。	授業での活用について、あまり進んでいない学校へのアプローチが必要である。	授業での活用が進むよう訪問や研修等を通じて呼びかけていく。	学校教育課	再掲
	③学校図書館の利用促進	学校だよりなどで子どもたちの読書に関する情報提供	B	B	学校司書配置校では、図書だよりを発行し、おすすめの図書や季節に合わせた本の紹介などを行っている学校もある。好事例を紹介していきたい。	学校司書配置校やブックサポーターの活動がさかんな学校は、図書だよりを発行していることがあったが、それら以外の学校では、あまり読書に関する情報提供はできなかった。	司書配置校以外では読書に関する情報を入手することが難しく、時間もないため、学校司書が拡充できるよう努めていくとともに、できる範囲での情報提供を各学校に依頼していく。	学校教育課	再掲
		学校図書館蔵書の充実	A	A	児童生徒一人あたりの学校図書館蔵書冊数については、小学校で昨年度より少し減少したが、図書の廃棄が進んでいることも影響している。引き続き、目標達成のために予算確保に努めていきたい。	学校図書館図書標準を達成している学校がまだまだ少ないことが課題である。	予算確保に努め、学校図書館図書標準が達成できる学校を増やしていく。	学校教育課	再掲
		学校図書館への新聞配備	－	－	令和7年度は学校図書館への新聞配備は行わなかった。	新聞配備のための予算確保ができていないことが課題である。	学校図書館への新聞配備のための予算確保をめざす。	学校教育課	再掲
		学校図書館備品の充実	B	B	書架など必要な備品は概ねそろっているが、増設や老朽化に伴う書架等の買い替えなどに対応していくことが課題である。	学校司書配置校を中心に備品の充実に努めてきた。引き続き予算確保に努めていく。	増設や老朽化に伴う書架等の買い替えなどに対応できるよう、さらなる予算確保をめざしていく。	学校教育課	再掲
		学校司書の配置の拡充	A	A	令和7年度は、学校司書を1名増員したことで、昨年度よりも多くの学校に学校司書を配置できた。さらなる拡充に努める。	この5年間で少しずつ学校司書は増員しているが、すべての学校からの希望に応えることができていない。	学校司書を増員し、配置校を拡充していく。	学校教育課	再掲
		図書館との協力体制の強化	A	A	公立図書館司書が図書館教育連絡協議会で説明を行ったり、学校司書研修会で助言を行い資質向上を図ったりするなど連携を行った。	図書館の事業案内をすることで学校との連携が進んでいる。また図書館司書と学校司書の連携の機会を設けていることは資質向上に効果的であった。	図書館とのさらなる連携を進めていく。	学校教育課	再掲
		図書館の団体貸出の活用	A	A	市内全小・中学校で団体貸出登録を行っており、活用が進んでいる。また昨年度から始まった図書館の出前講座を申し込んだ学校もある。	図書館の利用は進んでいるものの、学校間で差が見られる。	図書館の事業について積極的に案内をすることで市内すべての学校の活用につなげていく。	学校教育課	再掲
	④読書習慣の継続	朝読書の推進	B	B	多くの学校で朝読書が定着し、読書習慣が形成されている。さらに取組が充実するよう努めていく。	朝読書を行っていない学校もあることから、朝読書以外にも読書の機会を確保できるような工夫が必要である。	朝読書以外にも読書習慣の形成を図ることができるような取組を行っていく。	学校教育課	再掲
		学校だよりなどで子どもたちの読書に関する情報提供	B	B	学校司書配置校では、図書だよりを発行し、おすすめの図書や季節に合わせた本の紹介などを行っている学校もある。好事例を紹介していきたい。	学校司書配置校やブックサポーターの活動がさかんな学校は、図書だよりを発行していることがあったが、それら以外の学校では、あまり読書に関する情報提供はできなかった。	司書配置校以外では読書に関する情報を入手することが難しく、時間もないため、学校司書が拡充できるよう努めていくとともに、できる範囲での情報提供を各学校に依頼していく。	学校教育課	再掲

基本方針 2 家庭、地域、学校を通じた社会全体で取り組みます

	取組の総称	取組	進行 評価	内容 評価	令和7年度 成果と課題、今後の方針	今期計画（第四次）における成果と課題	次期計画（第五次）における取組〔予定〕	担当所属	再掲
(1) 家庭	①保護者への読書の大切さ、意義についての啓発、情報提供	幼稚園・保育園での保護者への啓発	A	A	・絵本貸し出しが家庭での読み聞かせのきっかけにつながり、親子の触れ合いを通して絵本のよさが感じられる機会となった。今後も、絵本にかかわる通信や親子での貸し出しなど、アプローチの工夫をしていく。	今後も読み聞かせや絵本などとの出会いの重要性について家庭、保護者へ啓発する。	幼稚園・こども園・保育園での保護者への啓発	幼保支援課	再掲
		乳幼児をもつ保護者対象の講座を通じた保護者への啓発	A	A	親子ふれあい活動にて、図書館司書職員を講師で招き図書に関する講座を実施するなどにより、保護者への啓発につながった。これを継続するとともに、啓発につながる他の活動を検討する。	本期間において、親子ふれあい活動を通じた啓発を継続的に行うことができた。引き続き図書館と連携した啓発を行うとともに、違った角度からの働きかけも検討していく。	図書離れが進んでいる昨今の状況に鑑み、これまでの活動を継続しつつ、異なるアプローチも検討していく。	こども・若者政策課	
		「子どもの居場所づくり事業」を通じた保護者への啓発	A	A	公民館において、未就園児及び小学生とその保護者を対象に「子どもの居場所づくり事業」の実施。事業の中で、絵本の読み聞かせなどを行い、読書習慣の形成を働きかけることができた。次年度以降も継続して実施していく予定。	公民館の「子どもの居場所づくり事業」では、未就園児及び小学生とその保護者へ絵本の読み聞かせを実施し、読書習慣の形成を促すことができた。次期計画でも、この取り組みを継続して実施していく予定。	「子どもの居場所づくり事業」を通じた保護者への啓発	生涯学習課	再掲
		地域の読書ボランティアや保護者、絵本サークルとの連携	A	A	・お話に親しむ機会が豊かになり、また、人との関わりも広がる経験ができ、今後も各園での取組を充実させていく。	・各園の特色ある取組から成果につながっている。今後、地域と連携、協力して子どもの豊かな体験につながるよう取組の啓発を行う。	地域の読書ボランティアや保護者、絵本サークルとの連携	幼保支援課	
		ブックスタート事業の検討	B	B	総合保健センターの乳幼児健診会場で読書ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施。また、試験的に瀬田市民センターの乳幼児健診会場で読み聞かせを実施。参加者は増加傾向にあるが、絵本の読み聞かせに関心が薄い層へのアプローチが十分ではない点が課題である。今後は、そうした層にも届くような働きかけ方や活動内容の工夫をする必要がある。	乳幼児健診会場での絵本読み聞かせは、令和5年度から総合保健センターで、令和7年度からは試験的に瀬田市民センターでも開始した。総合保健センターでは、定期的な開催により参加者は年々増加している。今後は、絵本読み聞かせに関心が薄い層にも届くよう、働きかけ方や活動内容を工夫する必要がある。	ブックスタート事業の検討に限らず、絵本の読み聞かせや読書に関心が薄い保護者への働きかけ方を検討していく必要がある。	生涯学習課	再掲
			A	A	検討した結果、総合保健センターの乳幼児健診会場で読書ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施するに至った。	大津市の全乳幼児を対象とした事業において検討・実施することができた。とりわけ乳児期に焦点を当てて実施することができたことは、保育園等に早期から入所する児が増える状況で大きな成果かと思われる。	次期計画（第五次）においても、継続した取り組みを行う。	母子保健課	再掲
	②図書館の利用促進	利用目的などに応じた図書の案内の作成	A	A	年齢や成長段階に応じた本の紹介を作成し、配付している。	年齢や成長段階に応じた本の紹介を作成し、配付している。	年齢や成長段階に応じた本の紹介やテーマ別の本の案内、新着図書館内などを作成し、配付する。	図書館	
		利用しやすい図書館のための情報機器等の活用	A	A	学校を通じて電子図書の利用案内を行い、使い方の周知を図った。	学校を通じて電子図書の利用案内を行い、使い方の周知を図った。	学校を通じた電子図書の利用案内や使い方の周知について継続的に取り組む。	図書館	再掲
	③子育て支援との連携（庁内関係部局と連携した情報発信、啓発）	乳幼児をもつ保護者対象の講座を通じた保護者への啓発	A	A	親子ふれあい活動にて、図書館司書職員を講師で招き図書に関する講座を実施するなどにより、保護者への啓発につながった。これを継続するとともに、啓発につながる他の活動を検討する。	本期間において、親子ふれあい活動を通じた啓発を継続的に行うことができた。引き続き図書館と連携した啓発を行うとともに、違った角度からの働きかけも検討していく。	図書離れが進んでいる昨今の状況に鑑み、これまでの活動を継続しつつ、異なるアプローチも検討していく。	こども・若者政策課	再掲
		「子どもの居場所づくり事業」を通じた保護者への啓発	A	A	公民館において、未就園児及び小学生とその保護者を対象に「子どもの居場所づくり事業」の実施。事業の中で、絵本の読み聞かせなどを行い、読書習慣の形成を働きかけることができた。次年度以降も継続して実施していく予定。	公民館の「子どもの居場所づくり事業」では、未就園児及び小学生とその保護者へ絵本の読み聞かせを実施し、読書習慣の形成を促すことができた。次期計画でも、この取り組みを継続して実施していく予定。	「子どもの居場所づくり事業」を通じた保護者への啓発	生涯学習課	再掲
(2) 地域	①図書館における子どもの読書活動の推進（読書環境の整備や充実、子どもと本の出会いの場の提供、レファレンス・読書相談の充実など）	利用目的などに応じた図書の案内の作成	A	A	年齢や成長段階に応じた本の紹介を作成し、配付している。	年齢や成長段階に応じた本の紹介を作成し、配付している。	年齢や成長段階に応じた本の紹介やテーマ別の本の案内、新着図書館内などを作成し、配付する。	図書館	再掲
		利用しやすい図書館のための情報機器等の活用	A	A	学校を通じて電子図書の利用案内を行い、使い方の周知を図った。	学校を通じて電子図書の利用案内を行い、使い方の周知を図った。	学校を通じた電子図書の利用案内や使い方の周知について継続的に取り組む。	図書館	再掲
		本を見つけやすい棚作りと魅力的な展示	A	A	季節やテーマに応じた見せ方を工夫し、読みたいといった興味・関心を持てるような本の展示や紹介を行った。	季節やテーマに応じた見せ方を工夫し、読みたいといった興味・関心を持てるような本の展示や紹介を行った。	季節やテーマに応じた見せ方を工夫し、読みたいといった興味・関心を持てるような本の展示や紹介を行う。	図書館	
		児童図書や青少年図書のさらなる充実と、子どもたちの読書欲求に応える蔵書の構築	A	A	学校や子供たちからのリクエストに応えるとともに、基本図書を中心に利用しやすいよう買い替えを行い、蔵書の充実を図った。	学校や子供たちからのリクエストに応えるとともに、基本図書を中心に利用しやすいよう買い替えを行い、蔵書の充実を図った。	学校や子供たちからのリクエストに応えるとともに、基本図書を中心に利用しやすいよう買い替えを行い、蔵書の充実を図る。	図書館	
		文庫団体、子ども読書活動団体との協働事業の実施と活動支援	A	A	文庫団体、子ども読書活動団体等への資料の団体貸出や「子ども読書活動」に資する講演会を開催した。	文庫団体、子ども読書活動団体等への資料の団体貸出や「子ども読書活動」に資する講演会を開催した。	文庫団体、子ども読書活動団体等への資料の団体貸出や「子ども読書活動」に資する講演会を開催する。	図書館	

	取組の総称	取組	進行 評価	内容 評価	令和7年度 成果と課題、今後の方針	今期計画（第四次）における成果と課題	次期計画（第五次）における取組【予定】	担当所属	再掲
(2) 地域	②児童館や公民館など本に親しむ場所の充実	児童館での蔵書の充実	A	A	図書の厳選購入や寄贈図書の積極的な受入を行い、蔵書充実につながった。今後も、蔵書の充実に努めていきたい。	図書購入予算を確保し、図書の厳選購入や寄贈図書の積極的な受入を行い、蔵書充実につながった。引き続き蔵書の充実に努めていく。	継続して蔵書を充実させていく。	こども・若者政策課	
		移動図書館の巡回予定の公民館だよりへの掲載	A	A	移動図書館の巡回の際は、当月の公民館だよりに掲載（瀬田南公民館・瀬田東公民館ほか）	公民館だよりを活用した移動図書館の巡回予定の広報により、市民が本に親しむ機会の創出できた。次期計画でも継続して取り組んでいきたい。	移動図書館の巡回予定の公民館だよりへの掲載	生涯学習課	
			A	A	移動図書館の巡回日程を一部の公民館だよりに掲載した。	移動図書館の巡回日程を一部の公民館だよりに掲載した。	生涯学習課を通じて公民館等への広報連携を図っていく。	図書館	
		児童館での絵本選定のポイントや絵本の楽しみ方の紹介	A	A	推薦図書などの研究を行い、本の選定等に活かすことができた。引き続き、職員間での読書活動等に関する理解を深める機会を設けていきたい。	絵本に触れ絵本を楽しんでいただけのように、紹介の仕方の工夫を絶えず行ってきた。来館者のニーズや感覚は年々変化していくため、継続して工夫を重ねる。	図書を楽しんでいただき、児童館に親しんでいただけるよう、引き続き工夫を重ねいく。	こども・若者政策課	
		児童館でのほんの貸し出し、閲覧の促進	A	A	児童館での図書の貸し出し及び閲覧については、おたよりや館内掲示すること、周知ができ促進につながった。また、閲覧の促進については、図書室以外に図書ラックを設置を、遊びの中で手にのってもらえるような工夫を行った。引き続き、貸し出し、閲覧につながる促進を検討する。	周知について工夫を重ね、目に留まる機会を増やすことができた。自ら手に取り図書に触れる機会を増やせるよう工夫していく。	引き続き促進を図っていく。	こども・若者政策課	
		児童館での図書館の出前講座による「おはなし会」や団体貸出の活用	A	A	団体貸出の活用により、児童館においてより多くの図書を来館者に触れていただく機会を提供することができた。児童館での大型絵本の所有数が限られているので、今後も団体貸出を活用していく。	多くの図書に触れ親しんでいただく機会を創出した。図書館の協力を得ながら引き続き充実に図っていく。	図書館の協力を得ながら引き続き充実に図っていく。	こども・若者政策課	
		絵本、児童書の紹介	A	A	館内掲示板に絵本や児童書を掲載することで、来館者への紹介につながった。引き続き、来館者に目に触れてもらう機会を増やすため、更なる周知の方法を検討、工夫する。	目に留まる機会を増やし、絵本や児童書に触れるきっかけづくりができた。自ら手に取り図書に触れる機会を増やせるよう、引き続き工夫していく。	きっかけづくりを今後も工夫し継続していく。	こども・若者政策課	
		放課後等の子どもの居場所づくり	A	A	公民館において、未就園児及び小学生とその保護者を対象に「放課後等の子どもの居場所づくり事業」の実施。事業の中で、絵本の読み聞かせなどを行い、読書習慣の形成を働きかけることができた。次年度以降も継続して実施していく予定。	公民館の「放課後等の子どもの居場所づくり事業」では、未就園児及び小学生とその保護者へ絵本の読み聞かせを実施し、読書習慣の形成を促すことができた。次期計画でも、この取り組みを継続して実施していく予定。	放課後等の子どもの居場所づくり	生涯学習課	
		大学図書館との連携	B	B	大学図書館は市民向けに開放されているところも多いが、図書館を通した利用となっており、連携はできていない。	市民向けに一般公開されている大学図書館も多くあるが、利用には特定の図書館を介した手続きが必要な場合があり、今期計画での連携は叶わなかった。このため、子どもが気軽に本と触れ合う機会が少ないのが現状である。	次期計画では、取組から削除する。	生涯学習課	
	③学校等と図書館の連携	学校・園などで行う読書活動や学校図書館、図書コーナーの環境整備やお図書整備への協力	A	A	図書館の出前講座の活用や学校図書館リニューアル支援事業に取り組み、選書や棚のレイアウトについてアドバイスをもらっている学校もあり、積極的に連携に努めたい。	図書館との連携は、進んできているが、学校間で差が見られる。	さらなる連携に向けて、研修等で図書館事業の周知を図っていく。	学校教育課	
			A	A	小中学校への学校図書館リニューアル支援や購入図書の助言、学校へのセット貸出を実施した。	小中学校への学校図書館リニューアル支援や購入図書の助言、学校へのセット貸出を実施した。	学校園への図書館リニューアル支援や購入図書の助言、学校園へのセット貸出、学校司書への協力を充実させる。	図書館	
		学校・園などへの団体貸出や出前講座、移動図書館の活用、図書館利用案内の配布	A	A	学校・園への団体貸出、一日図書館員、移動図書館スポット巡回などの事業において図書館利用案内を配布し、図書館の利用促進を図った。	学校・園への団体貸出、一日図書館員、移動図書館スポット巡回などの事業において図書館利用案内を配布し、図書館の利用促進を図った。また出前講座を行い、学校園と連携を図った。	学校・園への団体貸出、一日図書館員、移動図書館スポット巡回などの事業を通じて、身近に本に親しむことができる環境整備を学校園と連携して行う。	図書館	
		庁内各所管課で実施する子ども読書活動推進事業との連携	A	A	小中学校や園、児童館、市役所などへ出向きおはなし会や絵本に関する講座を開催し、子どもが本に親しむことができる読書環境の充実を図った。	小中学校や園、児童館、市役所などへ出向きおはなし会や絵本に関する講座を開催し、子どもが本に親しむことができる読書環境の充実を図った。	小中学校や園、児童館、市役所などへ出向きおはなし会や絵本に関する講座を開催し、子どもが本に親しむことができるよう保護者・関係者へ子どもの読書活動の普及・啓発に努める。	図書館	
	④子ども読書活動団体、読書ボランティア等の技術向上と連携事業の実施	ボランティア研修会の開催	A	A	ボランティア研修会を通じて、子ども読書に関わる様々な情報を伝え、ボランティア同士の交流を図ることもできた。次年度以降も継続して実施していく。	多様な専門家を講師に迎えた研修会は、ボランティアから高い評価を得ることができた。今後も現場のニーズを反映させながら、さらなる内容の充実に図っていきたい。	ボランティア研修会の開催	生涯学習課	
		子育て総合支援センターでの読書ボランティアなどとの連携	A	A	計画通りの実施に至らなかったが、ボランティア活動も再開し、中学生職場体験を受け入れ、活動の場を用意できた。今後も引き続き進めいく。	応援隊の活動の場をつくる。中学生職場体験を受け入れ、活動の場を用意できた。今後も同様にすすめていく。	事業の見直しにより、項目削除予定	子育てひろばゆめっこ	
		児童館での地域の人材・読書ボランティアなどと連携した事業の実施	A	A	職員の読み聞かせのほかに、近隣高校の生徒（図書委員会所属の生徒）や地域団体による、図書の読み聞かせを乳幼児向けに実施した。引き続き連携を強化し、高校生や地域団体による読み聞かせの機会を増やしていきたい。	読み聞かせを通じて様々な人材交流を図りながら図書に触れていただく事は、児童館ならではの取り組みであり、聞き手のみならず読み手にとっても貴重な経験となることから、継続して行っていきたい。	読書促進以外にも来館促進のきっかけにもなることから、今後も連携を強化し継続していきたい。	こども・若者政策課	
		子ども読書活動団体、読書ボランティアと連携した事業の実施	A	A	令和7年度も商業施設で読書ボランティアと連携したおはなし会を定期的開催した。協力を得られる読書ボランティアが限られるため、今後も安定した事業を実施できるよう、活動団体の把握と連携が必要である。	読書ボランティアと連携して商業施設で開催するおはなし会は、多くの参加者を得て好評だが、読書ボランティアの多忙化や高齢化により協力者が減少、固定化している。今後は、関係課と連携して読書ボランティアの育成に努める必要がある。	子ども読書活動団体、読書ボランティアと連携した事業の実施	生涯学習課	
		ブックスタート事業の検討	B	B	総合保健センターの乳幼児健診会場で読書ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施。また、試験的に瀬田市民センターの乳幼児健診会場で読み聞かせを実施。参加者は増加傾向にあるが、絵本の読み聞かせに関心が薄い層へのアプローチが十分ではない点が課題である。今後は、そうした層にも届くような働きかけ方や活動内容の工夫をする必要がある。	乳幼児健診会場で絵本読み聞かせは、令和5年度から総合保健センターで、令和7年度からは試験的に瀬田市民センターでも開始した。総合保健センターでは、定期的な開催により参加者は年々増加している。今後は、絵本読み聞かせに関心が薄い層にも届くよう、働きかけ方や活動内容を工夫する必要がある。	ブックスタート事業の検討に限らず、絵本の読み聞かせや読書に関心が薄い保護者への働きかけ方を検討していく必要がある。	生涯学習課	再掲

	取組の総称	取組	進行 評価	内容 評価	令和7年度 成果と課題、今後の方針	今期計画（第四次）における成果と課題	次期計画（第五次）における取組【予定】	担当所属	再掲
	①就学前施設における読書活動の推進	幼稚園・保育園での保護者への啓発	A	A	・絵本貸し出しが家庭での読み聞かせのきっかけにつながり、親子の触れ合いを通して絵本のよさが感じられる機会となった。今後も、絵本にかかわる通信や親子での貸し出しなど、アプローチの工夫をしていく。	今後も読み聞かせや絵本などとの出会いの重要性について家庭、保護者へ啓発する。	幼稚園・こども園・保育園での保護者への啓発	幼保支援課	再掲
		幼稚園・保育園での絵本の貸し出しの実施	A	A	・定期的に絵本の貸し出しを実施することで定着している。今後も継続し絵本に出会う機会の充実に努める。	・絵本の貸し出しの機会が子どもにとって本に触れる大切な機会となっている。今後も読書環境の整備、充実に努める。	幼稚園・こども園・保育園での絵本の貸し出しの実施	幼保支援課	再掲
		幼稚園での「学校図書充実事業」による蔵書の充実	A	A	・子どもの興味関心に応じて新刊や外国の絵本などを購入でき、子どもが新たな文化や世界に触れる機会につながった。今後も蔵書の充実に努める。	・子どもが絵本に触れる豊かな体験につながった。今後も引き続き読書環境の整備、充実に努める。	幼稚園・こども園での「学校図書充実事業」による蔵書の充実	幼保支援課	再掲
		幼稚園・保育園での絵本コーナーなどの設置	A	A	・季節や子どもたちの興味・関心に合わせて蔵書を分かりやすく分類・整理し、目に付きやすいところに並べる等の工夫をすることで、子どもが自分で絵本を選びやすくなった。今後も、子どもが絵本に主体的にかかわっていける魅力ある環境の工夫をしていく。	・子どもが絵本に主体的にかかわっていけるよう、発達や興味・関心に応じた絵本コーナーの設置に取り組めた。今後も絵本を身近に感じ生活の中で出会えるよう整備、充実に努める。	幼稚園・保育園・こども園での絵本コーナーなどの設置	幼保支援課	再掲
	②本に親しむ機会の提供	図書館の出前講座による「おはなし会」や団体貸出の活用	A	A	市内全小・中学校で団体貸出登録を行っており、活用が進んでいる。また昨年度から始まった図書館の出前講座を申し込んだ学校もある。	図書館の利用は進んできているものの、学校間で差が見られる。	図書館の事業について積極的に案内をすることで市内すべての学校の活用につなげていく。	学校教育課	再掲
		興味や関心に応じて楽しめる読書環境の充実・整備	A	A	新しい本のコーナーやシリーズ本のコーナーの設置など各学校において子どもの興味・関心に応じた取組を進めている。	選書会を行っている学校もあり、児童生徒の興味・関心に応じた環境を整備している。	児童生徒の声が反映されるような学校図書館となるよう取組を進めていく。	学校教育課	
	③学校図書館の整備・充実、利用促進	学校図書館蔵書の充実	A	A	児童生徒一人あたりの学校図書館蔵書冊数については、小学校で昨年度より少し減少したが、図書の廃棄が進んでいることも影響している。引き続き、目標達成のために予算確保に努めていきたい。	学校図書館図書標準を達成している学校がまだまだ少ないことが課題である。	予算確保に努め、学校図書館図書標準が達成できる学校を増やしていく。	学校教育課	再掲
		学校図書館への新聞配備	－	－	令和7年度は学校図書館への新聞配備は行わなかった。	新聞配備のための予算確保ができていないことが課題である。	学校図書館への新聞配備のための予算確保をめざす。	学校教育課	再掲
		学校図書館備品の充実	B	B	書架など必要な備品は概ねそろっているが、増設や老朽化に伴う書架等の買い替えなどに対応していくことが課題である。	学校司書配置校を中心に備品の充実に努めてきた。引き続き予算確保に努めていく。	増設や老朽化に伴う書架等の買い替えなどに対応できるよう、さらなる予算確保をめざしていく。	学校教育課	再掲
		モデル校の検証を踏まえた学校司書の配置拡充	A	A	令和7年度は、学校司書を1名増員することができた。引き続き学校司書の配置拡充に努めていきたい。	学校司書は少しずつ増員しているものの、学校からのすべての要望に応えられていない。	学校司書をさらに増員し、配置校を拡充していく。	学校教育課	
		学校施設長寿命化改良工事時における学校図書館の整備検討	A	A	令和7年度は長寿命化改良工事により膳所小において学校図書館の改修を実施した。今後、長寿命化改良工事（R7～R8：北大路中及び瀬田東小）においても、同改修を実施する。	長寿命化改良工事（R5～R6：晴嵐小及び唐崎中、R6～R7：堅田小及び膳所小）において学校図書館の改修を実施した。同事業に対する国庫補助の採択状況が芳しくないのが課題。	長寿命化改良工事（R9～R10：真野小及び唐崎小）においても、学校図書館の改修を実施する。	教育総務課	
		学校だよりなどで子どもたちの読書に関する情報提供	B	B	学校司書配置校では、図書だよりを発行し、おすすめの図書や季節に合わせた本の紹介などを行っている学校もある。好事例を紹介していきたい。	学校司書配置校やブックサポーターの活動がさかんな学校は、図書だよりを発行していることがあったが、それら以外の学校では、あまり読書に関する情報提供はできなかった。	司書配置校以外では読書に関する情報を入手することが難しく、時間もないため、学校司書が拡充できるよう努めていくとともに、できる範囲での情報提供を各学校に依頼していく。	学校教育課	再掲
	④学校園と子ども読書活動団体、読書ボランティアの連携	図書館との協力体制の強化	A	A	公立図書館司書が図書館教育連絡協議会で説明を行ったり、学校司書研修会で助言を行い資質向上を図ったりするなど連携を行った。	図書館の事業案内をすることで学校との連携が進んでいる。また図書館司書と学校司書の連携の機会を設けていることは資質向上に効果的であった。	図書館とのさらなる連携を進めていく。	学校教育課	再掲
		地域やPTAの読書ボランティアなどとの連携	A	A	令和7年度も図書室の環境整備、貸出支援等を担っていただく地域ボランティアに対しての予算を確保したことで、多くの学校が地域やPTAの読書ボランティアと連携を行った。	令和6年度からブックサポーター活動への予算を確保したことで地域との連携が大きく推進した。	引き続き予算を確保し、地域やPTAの読書ボランティアなどと連携を図っていく。	学校教育課	再掲

基本方針 3 子どもの読書活動を普及・啓発します

	取組の総称	取組	進行 評価	内容 評価	令和7年度 成果と課題、今後の方針	今期計画（第四次）における成果と課題	次期計画（第五次）における取組〔予定〕	担当所属	再掲
（1）子ども読書活動の大人への理解と関心の普及	①読書の大切さ、意義についての啓発及び家庭での読書の推進	「赤ちゃん手帳」への読書の大切さの掲載	A	A	赤ちゃん手帳に掲載しているものの、アンケート調査によりスマホの普及等で赤ちゃん手帳自体を読んでいる保護者が減っている。	これまでの郵送から新生児訪問時に直接手渡しするように変更するなど工夫している。	赤ちゃん手帳の在り方を見直しをするが、今後も読書の大切さについては啓発できるような媒体を検討していく。	母子保健課	再掲
		乳幼児健診室へ図書紹介のチラシの設置	A	A	乳幼児健診室内で、どの保護者の目にもとまりやすい場所に設置した。	今後も引き続き設置を継続していく。	必要な保護者には保健指導の中でも声掛けをしていく。	母子保健課	再掲
			A	A	乳幼児健診時に図書館の利用案内や、幼児向けブックリストを配布した。	乳幼児健診時に図書館の利用案内や、幼児向けブックリストを配布した。	乳幼児健診時に図書館の利用案内や、幼児向けブックリストを配布し、保護者へ子どもの読書への理解を深めてもらう機会の提供に取り組む。	図書館	再掲
		10か月児健診での絵本ガイドの配布	A	A	10か月児健康診査については初めての集団健診ということもあり、受診率が高い。	毎年90％以上の受診率であり、多くの親子に絵本ガイドを配布することができている。	次期計画（第五次）においても、継続した取り組みを行う。	母子保健課	再掲
		乳児家庭全戸訪問事業で絵本を紹介している子育てハンドブックの配布	A	A	生後1〜2か月頃に新生児訪問時、または、来所相談を希望される場合はすこやか相談所に、子育てハンドブックを配布している。	母子保健課の新生児訪問事業においては、令和7年度出生数に対し、90％以上（令和8年4月現在）の新生児に配布ができた。	次期計画（第五次）においても、継続した取り組みを行う。	母子保健課	再掲
			A	A	乳児家庭全戸訪問事業で絵本を紹介している子育てハンドブックの配布	今後も、同様にすすめていく。	事業の見直しにより、項目削除予定	子育てひろばゆめっこ	再掲
		来館者の意見を取り入れた、おすすめの絵本や読み聞かせのポイント紹介	A	A	年齢に応じた、絵本の選び方や紹介をおこなった。読み方のポイントも保育士の読み聞かせの中で伝えている。来館者のリクエストボックスを10月から再開した。	来館者が利用しやすいような、絵本の設置や紹介をおこなった。日々のおはなし会や講座の中でも絵本の読み方やおすすめ絵本を知らせた。今後も来館者の状況に応じた、語り方や絵本の紹介を工夫していきたい。	来館者の状況に応じた、”語りかけの大切さや年齢に応じたおすすめの絵本や読み聞かせのポイントの紹介を行ってきたい。	子育てひろばゆめっこ	再掲
		幼稚園・保育園での保護者への啓発	A	A	・定期的に絵本の貸し出しを実施することで定着している。今後も継続し絵本に出会う機会の充実に努める。	・絵本の貸し出しの機会が子どもにとって本に触れる大切な機会となっている。今後も読書環境の整備、充実に努める。	幼稚園・こども園・保育園での絵本の貸し出しの実施	幼保支援課	再掲
		絵本についての講座や学習会の開催	A	A	・読み聞かせや絵本等との出会いの重要性について通信や掲示等から実践できた。今後も保護者への啓発に努める。	・読み聞かせを保育の意図に結び付ける力の育成に向けて、引き続き学び合いの研修を実施していく。	絵本についての講座や学習会の開催	幼保支援課	再掲
		学校だよりなどで子どもたちの読書に関する情報提供	B	B	学校司書配置校では、図書だよりを発行し、おすすめの図書や季節に合わせた本の紹介などを行っている学校もある。好事例を紹介していきたい。	学校司書配置校やブックサポーターの活動がさかんな学校は、図書だよりを発行していることがあったが、それら以外の学校では、あまり読書に関する情報提供はできなかった。	司書配置校以外では読書に関する情報を入手することが難しく、時間もないため、学校司書が拡充できるよう努めていくとともに、できる範囲での情報提供を各学校に依頼していく。	学校教育課	再掲
		ブックスタート事業の検討	B	B	総合保健センターの乳幼児健診会場で読書ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施。また、試験的に瀬田市民センターの乳幼児健診会場でも読み聞かせを実施。参加者は増加傾向にあるが、絵本の読み聞かせに関心が薄い層へのアプローチが十分ではない点が課題である。今後は、そうした層にも届くような働きかけ方や活動内容の工夫をする必要がある。	乳幼児健診会場での絵本読み聞かせは、令和5年度から総合保健センターで、令和7年度からは試験的に瀬田市民センターでも開始した。総合保健センターでは、定期的な開催により参加者は年々増加している。今後は、絵本読み聞かせに関心が薄い層にも届くよう、働きかけ方や活動内容を工夫する必要がある。	ブックスタート事業の検討に限らず、絵本の読み聞かせや読書に関心が薄い保護者への働きかけ方を検討していく必要がある。	生涯学習課	再掲
					検討した結果、総合保健センターの乳幼児健診会場で読書ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施するに至った。	大津市の全乳幼児を対象とした事業において検討・実施することができた。とりわけ乳児期に焦点を当てて実施することができたことは、保育園等に早期から入所する児が増える状況で大きな成果かと思われる。	次期計画（第五次）においても、継続した取り組みを行う。	母子保健課	再掲
	②子どもの読書活動についての理解と関心の普及	子どもの読書活動に関する講演会や講座の開催	A	A	大人に向けた読書活動の啓発として、児童サービス関連講座を実施し、子どもの読書への理解を深めてもらうきっかけづくりに取り組んだ。 また、教職員初任者研修では、図書館司書職員が講師となり、子どもの読書活動の大人への理解と関心の普及に努めた。	大人に向けた読書活動の啓発として、児童サービス関連講座を実施し、子どもの読書への理解を深めてもらうきっかけづくりに取り組んだ。 また、教職員初任者研修等を通して、子どもの読書活動の大人への理解と関心の普及に努めた。	大人に向けた児童サービス関連講座を実施し、子どもの読書に関わる方への研修、また子どもの読書への理解を深めてもらうきっかけづくりに取り組む。 また、教職員初任者研修等を通して、子どもの読書活動の大人への理解と関心の普及に努める。	図書館	
	③読書の重要性についての啓発	乳幼児をもつ保護者対象の講座を通じた保護者への啓発	A	A	親子ふれあい活動にて、図書館司書職員を講師で招き図書に関する講座を実施するなどにより、保護者への啓発につながった。これを継続するとともに、啓発につながる他の活動を検討する。	本期間において、親子ふれあい活動を通じた啓発を継続的に行うことができた。引き続き図書館と連携した啓発を行うとともに、違った角度からの働きかけも検討していく。	図書離れが進んでいる昨今の状況に鑑み、これまでの活動を継続しつつ、異なるアプローチも検討していく。	こども・若者政策課	再掲
		絵本選定のポイントや絵本の楽しみ方の紹介	A	A	推薦図書などの研究を行い、本の選定等に活かすことができた。引き続き、職員間での読書活動等に関する理解を深める機会を設けていきたい。	絵本に触れ絵本を楽しんでいただけのように、紹介の仕方の工夫を絶えず行ってきた。来館者のニーズや感覚は年々変化していくため、継続して工夫を重ねる。	図書を楽しんでいたき、児童館に親しんでいたけりよう、引き続き工夫を重ねいく。	こども・若者政策課	再掲
		「子どもの居場所づくり事業」を通じた保護者への啓発	A	A	公民館において、未就園児及び小学生とその保護者を対象に「子どもの居場所づくり事業」の実施。事業の中で、絵本の読み聞かせなどを行い、読書習慣の形成を働きかけることができた。次年度以降も継続して実施していく予定。	公民館の「子どもの居場所づくり事業」では、未就園児及び小学生とその保護者へ絵本の読み聞かせを実施し、読書習慣の形成を促すことができた。次期計画でも、この取り組みを継続して実施していく予定。	「子どもの居場所づくり事業」を通じた保護者への啓発	生涯学習課	再掲
	④子どもにとって絵本の大切さを伝える取り組み	幼稚園、保育園での保護者への啓発	A	A	・定期的に絵本の貸し出しを実施することで定着している。今後も継続し絵本に出会う機会の充実に努める。	・絵本の貸し出しの機会が子どもにとって本に触れる大切な機会となっている。今後も読書環境の整備、充実に努める。	幼稚園・こども園・保育園での絵本の貸し出しの実施	幼保支援課	再掲
		絵本についての講座や学習会の開催	A	A	・読み聞かせや絵本等との出会いの重要性について通信や掲示等から実践できた。今後も保護者への啓発に努める。	・読み聞かせを保育の意図に結び付ける力の育成に向けて、引き続き学び合いの研修を実施していく。	絵本についての講座や学習会の開催	幼保支援課	再掲
		幼稚園、保育園での絵本の貸し出しの実施	A	A	・定期的に絵本の貸し出しを実施することで定着している。今後も継続し絵本に出会う機会の充実に努める。	・絵本の貸し出しの機会が子どもにとって本に触れる大切な機会となっている。今後も読書環境の整備、充実に努める。	幼稚園・こども園・保育園での絵本の貸し出しの実施	幼保支援課	再掲

	取組の総称	取組	進行 評価	内容 評価	令和7年度 成果と課題、今後の方針	今期計画（第四次）における成果と課題	次期計画（第五次）における取組【予定】	担当所属	再掲
（２）子どもに関わる職員、教員、保育士等のスキルアップ	①学校図書館の円滑な運営体制の構築	学校図書館関係者への研修会の実施	A	A	年に1回図書館教育連絡協議会を開催している。また、滋賀県主催の研修会への参加を積極的に呼びかけている。	図書館教育連絡協議会で情報を発信したり、好事例を紹介したりできた。	図書館教育連絡協議会の内容の充実を図っていく。	学校教育課	
		教科等領域別研究会学校図書館教育部会における研修会の実施	A	A	読書活動や図書室経営についての研修会や、小中学校の取組の実践交流を行うことができた。今後も充実させていく。	図書室の貸し出し冊数の多い学校の取組を紹介し、交流することができた。今後は電子図書館の利用について検討していく。	各小中学校の図書室経営や読書指導について、学校の特色や地域の人材を生かした実践、電子図書館の活用について探っていく。	教育センター	
		初任者研修における研修の実施	A	A	市立図書館の利用や読書指導について、館内の見学や司書による講話を通じて学ぶことができた。次年度以降も実施していく。	子どもの成長段階に応じた資料の紹介について学ぶことができた。今後もさら子どもの読書率向上に努めていく。	市立図書館や電子図書館の活用、読書指導の工夫や自校の図書室の充実について研修を実施していく。	教育センター	
	②職員等のスキルアップ	司書の専門的な資質の向上のための積極的な研修の受講と実践	A	A	でき得る限り勤務体制を調整し、滋賀県立図書館主催の研修会やオンライン研修に参加し、それらを館内職員研修へと繋げた。	でき得る限り勤務体制を調整し、滋賀県立図書館主催の研修会やオンライン研修に参加し、それらを館内職員研修へと繋げた。	職員の積極的な研修への参加とともに、受講した研修内容を職員にフィードバックし、組織全体の資質向上に努める。	図書館	
		絵本についての講座や学習会の開催	A	A	・読み聞かせや絵本等との出会いの重要性について通信や掲示等から実践できた。今後も保護者への啓発に努める。	・読み聞かせを保育の意図に結び付ける力の育成に向けて、引き続き学び合いの研修を実施していく。	絵本についての講座や学習会の開催	幼保支援課	再掲